

## 2018年度 交換留学 留学報告書

コミュニケーション学科 3年

留学先：中国 清華大学

留学期間：2018年2月～2019年1月

今回の留学を通して語学はもちろんですが、それ以上に大切なものをたくさん学ぶことができました。留学してすぐの頃は寮費が払えなかったり、契約したSIMカードが3日間つながらなかったり、思うようにコミュニケーションを取ることができなかったりと様々な壁にぶつかり、留学したことを後悔する日々が続きました。知っている人がいなかったため、拙い中国語を使いながらなんとか自力で解決しました。振り返ると、今まではトラブルに遭遇した場合、誰かに頼ることが当たり前になっていました。その事に気づくことができ、自分で解決する力が身についたのでとてもいい経験になりました。

ほとんどの授業が午前中に終わり、アルバイトもしていなかったため自分を見つめ直したり、好きなことをしたりする時間ができたことが私にとってとても貴重なことでした。一人で頤和園にいたり、大学内を探索したりしました。また、留学生サッカーチームのマネージャーをしたり、ランゲージパートナー制度に応募したりして沢山の外国人の友人を作ることができました。私が相手の話していることが聞き取れないときや、うまく自分の思いが伝えられなくて困っているときも簡単な言葉に直してくれたり、最後まで優しく聞いてくれたりしたのでとても救われ、もっとコミュニケーションを取れるようになりたいと思い中国語を学ぶ原動力になりました。今もまだ中国語で話すことは苦手ですが、相手の話していることはスローペースであればだいたい分かるようになったと思います。

清華大学や北京大学では日本人留学生同士の交流を深めるための会がたくさん開かれていたので日本人の友人もたくさんできました。清華大学や北京大学に留学している多くの日本人は中国語ではない専門分野の研究のために来ていたので毎日とても忙しそうでしたが、それが当たり前といった感じでした。プレゼンや論文を書き終えたあとは思いっきり遊んでいて、彼らからは勉強に向かう姿勢や楽しさ、メリハリのある生活の仕方を学びました。

語学を学ぶなら日本国内でもできるという人がいます。たしかにそうだと思いますが、留学では語学を身につけられるだけでなく、自立心や自信が芽生え、日本とは違う文化に触れることができ、友人の大切さに気づくことのできるとても良い機会であったと思います。この1年間の思い出は忘れられない宝物になりました。中国で出会った友人たちと再会するのがとても楽しみです。

# 2018年度 交換留学 留学報告書

国際交流学科 3年

留学先：中国 清華大学

留学期間：2018年2月～2019年1月

1年間の中国留学を通して学んだことは積極的に行動することの大切さと努力し続ける事の大切さである。

中国に来た当初、中国語を話すことも聞き取ることも出来ず、これから先過ごしていけるのかなと不安でしかなかったけど、今となれば留学をして本当によかったなと思える経験が出来たと思う。特に印象に残っているのが、銀行に行ったときに「あなたとはコミュニケーションが取れない、コミュニケーションが取れる人と一緒に来なさい」と言われたのを今でも鮮明に覚えている。他にも電話をしている時に伝わらなければ怒られ切れられるのがよくある事で特に中国人は口調も性格もきつい人が多いので言われた時は本当に心が折れそうになった。言葉の壁を感じ辛い日もあったが、現地で出会った友人たちと過ごした日々ほど楽しくて貴重なものはない。今ある友人は全てサークルを通しての出会いなので、もし自分が今のサークルに入っていなかったらこれほど充実した留学生活を送ることはなかっただろう。留学は全て自分次第である。自分が行動を起こさなければ何の変化もないし何の出会いもない。失敗や迷いもあるけど、その先には絶対に得られるものがある。得たものを言っていくとキリがないので言わないが、今ではそれが勇気と自信に繋がり何でも恐れずに積極的に行動できる自分を作ってくれた。言語に関しては、留学をしている以上言葉の壁を感じない日はない。初めに話したが、話したいことが伝わらないもどかしさや悔しさがばねとなり一生懸命勉強をし努力し続けた結果最終的に HSK5 級を獲得することが出来た。今でも上手く伝えられず悔しい気持ちになることはある。だからこそもっと中国語を極めたい。これから6級合格を目指し勉強していくつもりだ。また内モンゴルや雲南省、西安など日本からはめったに行くことのない地方に行って実際に自分の目で見て中国の広大さを知ることが出来た。特に西安の兵馬俑や北京にある万里の長城は中国の歴史を感じさせる貴重な体験となった。まだまだ行ってない場所があるので今後も中国の各地を回って様々な文化や歴史を体験していきたいと思う。

この留学を通して中国に対するイメージが変わった。人口が多いうえに身勝手な中国人の行動で驚くことはあるが、中国は IT 先進国であり日本よりも断然に住みやすい。特に ofo とってアプリでスキャンすれば自転車を自由に使用することが出来たり、地下鉄やタクシー、デリバリー、ネットショッピングなどのアプリもあり、さらにはカフェやレストランでも全てスマホで簡単に支払うことが出来るので現金を持ち歩くことはほとんどない。空気汚染問題は今でも問題となっているが、日本にもこういったサービスが発展すればとても便利だなと思った。

最後に、この留学で出会えた人たちは私の長い人生の中でもなかなか出会えない大切な友達となり、またこの留学で得た経験を今後の就職活動に活かしていければいいなと思った。この留学を経験させてくれた方々の応援と恵まれた環境に感謝の気持ちを忘れずにこれからも向上心を持ち続け、今後は日本

だけではなく中国で働くことも視野に入れて活躍していきたい。

以上です。ご協力ありがとうございました。